

現代産業選書 知的財産実務シリーズ

バイオ特許の実務

—権利の取得から活用・ライセンスまで—

特許業務法人 池内・佐藤 アンド パートナーズ 弁理士 辻丸 光一郎 著



バイオテクノロジーは、すでに私たちの生活に身近なものとして認知されている。技術の面では、それ以上にゲノム情報の活用等により、創薬や遺伝子医療、再生医療といった高度な研究が展開され、それに伴ないバイオ特許も変化・進展してきた。なかでもベンチャー企業においては、特許を事業経営・拡大の重要な項目の一つと位置付け、バイオ産業を活気付けている。

本書は、現在、様々なバイオ・医療特許訴訟実務に携わっている著者が、特許出願の基礎知識からライセンス契約にいたるまでの「バイオテクノロジー関連発明」について解説したものである。

バイオテクノロジー・医療分野に的を絞った構成で、他の分野とは異なる運用や問題点を挙げて究明し、さらに日米欧特許庁との比較研究がなされている。

実務者の方やバイオ関連技術者の方など初心者にもお薦めの書である。

[推薦の辞]

千葉大学大学院専門法務研究科教授 青山 紘一

A5判 436頁
定価 4,620円
(本体 4,400円+税5%)
送料実費

発行 財団法人 経済産業調査会

本部 〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

電話 03(3535)4882 FAX 03(3535)4884

近畿本部 〒540-0028 大阪市中央区常盤町2-2-11 TEL 06(6941)8971 FAX 06(6941)8992

東北支局 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-1-17 TEL 022(227)0978 FAX 022(223)5582

四国支局 〒760-0052 高松市瓦町1-9-9 TEL 087(862)6133 FAX 087(862)0477

中国支局 〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 TEL 082(228)4911 FAX 082(211)1184

目 次

第1章 特許出願の基礎知識

- 第1節 特許出願と権利化までの手続
- 第2節 特許出願に必要な書類
- 第3節 特許生物の寄託
- 第4節 配列表 (SEQUENCE LISTING)

第2章 特許請求の範囲および明細書の作成の実務

- 第1節 特許請求の範囲の作成
- 第2節 明細書 (発明の詳細な説明) の記載要件と審査基準
- 第3節 特殊なクレームの記載要件
- 第4節 欧米におけるクレームと明細書の記載要件

第3章 バイオ特許の進歩性

- 第1節 バイオ関連発明における進歩性の判断 (日本)
- 第2節 米国におけるバイオ関連発明の非自明性の判断
- 第3節 欧州特許庁 (EPO) におけるバイオ関連発明の非自明性の判断

第4章 三極比較研究

- 第1節 DNA断片の特許性 (有用性・実施可能要件)

- 第2節 機能推定した核酸分子関連発明の有用性と進歩性

- 第3節 リーチスルークレームの特許性
- 第4節 タンパク質三次元構造関連発明

第5章 医療行為関連発明の特許性

- 第1節 医療関連発明の特許性の問題
- 第2節 医療行為関連発明の審査基準
- 第3節 欧米における医療行為の取り扱い

第6章 バイオ関連発明の特許権の権利解釈

- 第1節 文言侵害
- 第2節 均等論
- 第3節 間接侵害
- 第4節 権利濫用
- 第5節 特殊なクレームの権利範囲の解釈
- 第6節 試験・研究の例外

第7章 ライセンス契約

- 第1節 ライセンス契約の基礎
- 第2節 ライセンス契約書
- 第3節 ライセンス契約と独占禁止法

----- きりとり線 -----

申 込 書

バイオ特許の実務 _____ 部注文します。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

郵便番号 _____ ご住所 _____

(ふりがな)
ご社名 _____

部課名 _____

ご担当者 _____ ☎電話 _____

(必ず明記して下さい)